

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
桑折中央地区

平成27年3月

福島県桑折町

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる 確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成 度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある 場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定 の別	目標達成度	1年以内の 達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	桑折町交流人口 (桑折御蔵の入場者 数)	人/年	8,749	10,000	5,854	確定 見込み ●	×	あり なし ●	5,470	H27年2月	×	通常の人口減少に加え、東日本大震災及び原発事故災害の影響が大きいため。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	平成21年度から徐々に入場者数は減少しているが、蚕糸跡地における「桑折駅前災害公営住宅整備事業」の着工を皮切りに、各種事業が進み交流人口の増加を推進すると想定する。	
指標2	暮らしの満足度 (日常生活における 買い物対策の満足 度)	%	35.0	50.0	29.9	確定 見込み ●	×	あり なし ●	31.2	H27年2月	×	-	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	「各種道路事業による交通アクセス環境の改善」や「JR桑折駅北ポケットパークの整備や旧伊達郡役所周辺整備等による歩行環境の向上」が買い物 の利便性向上に寄与している。
指標3	まちづくり活動	イベント 数	7	10	6	確定 見込み ●	×	あり なし ●	6	H27年2月	×	市街地の中心拠点である蚕糸跡地における各種事業が進行中であるため。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	「JR桑折駅北ポケットパーク」や「旧伊達郡役所周辺整備」等により交流の場を創出したが、さらに、蚕糸跡地の交流施設との連携など、各種イベントのタイアップの展開等が必要である。	
指標4	-					確定 見込み		あり なし		H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
指標5	-					確定 見込み		あり なし		H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる 確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成 度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある 場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定 の別	達成度	1年以内の 達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の 数値指標1	生活道路の整備状況 の満足度	%	43.0	44.9	確定 見込み ●			38.8	H27年2月			各種道路事業を実施した桑折中央地区における140名の各町内会班長を対象とした簡易アンケート調査による評価値の見込みが高い値であった。 ■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	各種道路事業により交通アクセス環境は改善しているが、引き続き、狭隘道路の改善など各種道路事業を実施し、相乗効果を発揮することが必要である。
その他の 数値指標2	-				確定 見込み				H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
その他の 数値指標3	-				確定 見込み				H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・成果を持続させるために 行う方策 	<ul style="list-style-type: none"> 各種施設へのアクセス性向上や、街なかの各路線の狭隘道路などの改善 ・各種道路事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・桑折駅前災害公営住宅整備事業における道路整備を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅整備と共に道路の整備が進んだことにより、復興に向けた実感・機運が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各路線の利用状況等を踏まえ、整備優先度を明らかにした上で、ハード面による各路線改良等を進めるとともに、交通安全教室などソフト面の活動についても検討をしていく。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 改善策 	<ul style="list-style-type: none"> 蚕糸跡地の有効活用 ・「公園事業(蚕糸跡地)」の実施 ・「地域生活基盤施設 福島蚕糸官舎跡地広場(蚕糸跡地)」の実施 ・「宅地分譲」の実施 ・「地域交流センター」の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地の中心拠点である蚕糸跡地において、東日本震災及び原発事故災害からの復旧復興として、町の発展に資する新たな住居等の拠点づくりである「桑折駅前災害公営住宅整備事業」が着工した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・蚕糸跡地に計画されている各種事業の中において、町民の生活の基盤となる住居づくり実施され、復興に向けた実感・機運が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「公園事業」や「福島蚕糸官舎跡地広場」「地域交流センター」を早期実現させ、中心拠点としての魅力を高め、地域の活性化を目指す。
	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 	<ul style="list-style-type: none"> 定住人口の維持・増加 ・低未利用地を活用した宅地供給 ・桑折駅周辺への駐車場の確保 ・まちづくりに対する意識の醸成を促すワークショップ等の開催 ・町の魅力である歴史・文化を継承する語り部活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民主導のもと、「桑折駅前ロータリー」や「駅北ポケットパーク」及び「桑折停車場線」において、イルミネーションの点灯を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・街なかに賑わいを創出するとともに、まちづくりに対する町民の意識の醸成に繋がっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「中心拠点である蚕糸跡地」や「旧伊達郡役所」など、町内の各種施設同士で連携を図り、町の魅力向上に向け相乗効果を創出させる。 ・また、住民との協働による歴史・文化の継承や各種イベントの開催等について検討をしていく。

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
—			